

【分野名：医学系】

大 学 名	福井大学
拠点のプログラム名称	生体画像医学の統合研究プログラム
中核となる専攻等名	高エネルギー医学研究センター
拠点リーダー氏名	米倉 義晴

《拠点形成の概要》

分子生物学が医学を大きく変えつつある。本プログラムでは、遺伝子発現としての生命現象あるいは遺伝子発現異常としての疾患を、新たに開発した分子プローブを用いて非侵襲的に画像化する「分子イメージングの国際的研究教育拠点」を形成する。これにより、がん、痴呆等に関する分子生物学等の基盤研究を包

括した先端画像医学を確立し、国民の健康・医療の推進に貢献するとともに、画像技術を用いる新しいシステム医科学を創成する。この学際的研究を推進するため、若手研究者・大学院生の萌芽的研究支援・指導体制の確立、迅速な研究実施に不可欠な高度化設備の活用・強化とそれらに習熟した研究支援者育成等、大学を挙げた新しい研究システムを構築する。

福井県は原発立地県であり、県民は放射線に対する強い関心を持っている。高エネルギー放射線を積極的に利用する分子イメージング拠点の形成は、高度医療の恩恵を県民にもたらすものである。

